

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2019-1015-1	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:3.5KJPNv2 試料:なし 情報:全ゲノム情報
主たる研究機関	東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	株式会社DeNA
研究題目	東北メディカル・メガバンク機構の日本人全ゲノム参照パネルを用いたgenotype imputationの別ゲノムコホートへの有用性検証			研究期間	2020年1月～ 2022年3月
研究代表者	木下 賢吾	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位 教授
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク機構の日本人全ゲノム参照パネルを用いたgenotype imputation について、東北メディカル・メガバンク機構が実施しているコホート調査とは異なる地域分布やDNA マイクロアレイチップを用いている別ゲノムコホートへの有用性を検証します。また、怒りに関するゲノムワイド関連解析を実施し、関連遺伝子を探索します。				
研究計画概要	株式会社DeNA ライフサイエンスで実施している遺伝子検査サービスMYCODE の研究同意者から得られたゲノム情報を用いて、ToMMo が構築した日本人全ゲノム参照パネルを使ったジェノタイプインピュテーションを、ToMMoスーパーコンピュータ内で実施します。 この日本人全ゲノム参照パネルは、地域住民コホートと三世代コホート調査参加者のゲノム情報をもとに構築されたものです。				
期待される成果	DNAマイクロアレイや参照パネルの違いによるgenotype imputation後のカバー率(genotype imputationによって推定され、一定以上高い推定精度を示すSNP割合)やGWAS等の各種結果を比較することで、東北メディカル・メガバンク機構の日本人全ゲノム参照パネルを用いたgenotype imputationの有用性を検証が期待されます。				
これまでの倫理 審査等の経過	2021年1月 株式会社DeNAライフサイエンス倫理委員会承認 2021年3月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	共同研究機関(株式会社DeNAライフサイエンス)において収集した既存試料・情報の提供を受けて実施する研究計画であり、共同研究機関において、提供者にから本研究に係る参加同意を得ております。 ヒトを対象とする 生命科学 ・医学系研究の倫理指針、ToMMoセキュリティポリシーの他、別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行します。情報は、高度なセキュリティが担保されたスーパーコンピュータ内で利用し、外部へは持ち出しません。				
その他特記事項	共同研究費(DeNAライフサイエンス)				
※公開日	令和3年12月7日 期間の延長のみ。分譲留保期間の設定不要				